

SI-8001FDL

2009年12月

◆概要

SI-8000FDL シリーズは、発振周波数を 300kHz にすることで、チョークコイルの小型化が可能になり、また、TO-263-5 を採用により、小型でかつ高効率な電源を実現します。SI-8000FDL シリーズは、スイッチングレギュレータに必要な機能と過電流および過熱に対する保護機能を持ったレギュレータです。外付けはわずか4点で、調整なしに高効率なスイッチングレギュレータが実現できます。—小型パワー面実装パッケージで出力電流 3.5A を供給します。

V_c 端子へダイレクトに信号を入力する事で ON/OFF 制御が可能 (アクティブ Low)

◆アプリケーション

- DVD レコーダー、FPD TV
- プリンター等の OA 機器
- オンボードローカル電源

◆特長

- 高効率 83% (V_{IN}=15V, I_o=2A)
- 外付け部品 4 点で構成。
- 発振回路内蔵(発振周波数 300kHz(TYP))
- 垂下型過電流保護回路及び過熱保護回路を内蔵
- 制御機能を内蔵(アクティブ Low)
- オフ時低消費電流 (200uAmax)

◆パッケージ

パッケージ名 : TO-263-5

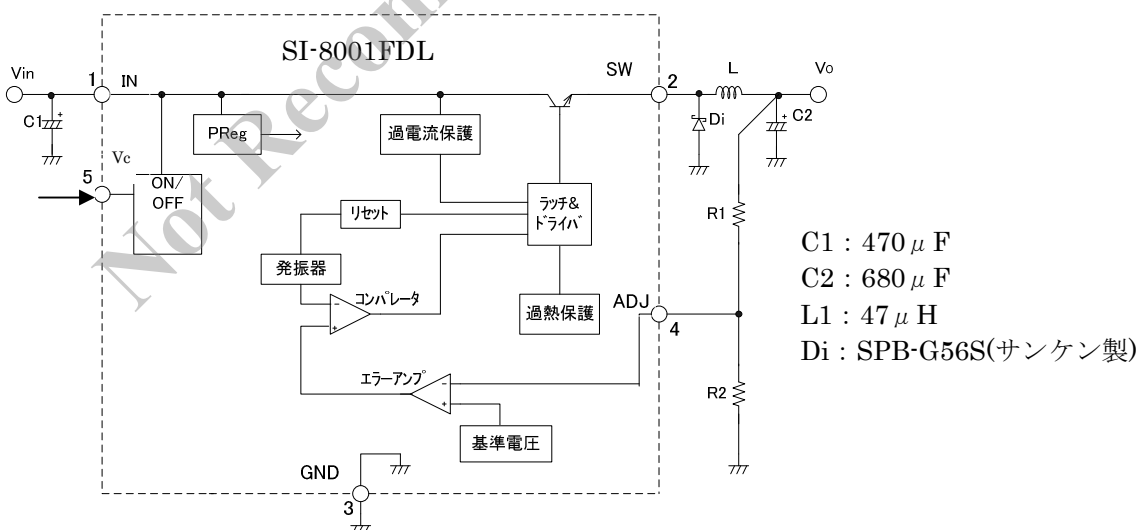


- ピン間隔 : 1.7mm
- ボディーサイズ : 9.9×10.4×4.5mm

◆主要スペック

SI-8001FDL	
入力電圧	43V
出力電流	0~3.5A
出力電圧	0.8V (基準電圧)
効率 (TYP)	83% (5V 出力時)

代表回路例



SI-8001FDL

2009年12月

1 適用範囲

この規格は、降圧スイッチングレギュレータ IC SI-8001FDL について適用する。

2 概要

種別	半導体集積回路(モノリシック IC)
構造	樹脂封止型(トランスファーモールド)
主用途	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直流安定化電源装置 ・ OA 機器 ・ スイッチングレギュレータ 2 次側出力電圧安定化 ・ テレコムオンボードローカル電源 ・ オンボードローカル電源

3 絶対最大定格

3-1 絶対最大定格

項目	記号	規格	単位	条件
入力電圧	V _{IN}	43	V	
V _c 端子電圧	V _c	V _{IN}	V	
無限大放熱時許容損失	Pd1-1	22.7	W	但し過熱保護により制限
	Pd1-2	18.2	W	T _j =125 °C
許容損失 *1	Pd	3	W	ガラスエポキシ基板 40×40mm (銅箔エリア 100%)実装時
接合温度	T _j	+150max	°C	この製品は過熱保護回路を内蔵しており、接合部温度が 130°C 以上になると、動作することがあります。 動作時のジャンクション温度としては 125°C 以下での設計を推奨いたします。
保存温度	T _{stg}	-40~150	°C	
熱抵抗(接合-ケース間)	θ _{j-c}	3	°C/W	ガラスエポキシ基板 40×40mm (銅箔エリア 100%)実装時
熱抵抗(接合-周囲間)	θ _{j-a}	33.3	°C/W	ガラスエポキシ基板 40×40mm (銅箔エリア 100%)実装時

*1 但し、過熱保護により制限。

SI-8001FDL

2009年12月

3-2 推奨動作条件

項目	記号	規格		単位	条件
		MIN	MAX		
入力電圧範囲	V _{IN}	*2 V _o +3	40	V	
出力電圧範囲	V _o	0.8~24		V	
出力電流範囲	I _o	0~3.5		A	*3 V _{IN} ≥ V _o +3V
動作時接合温度範囲	T _{jop}	-30~100		°C	
動作温度範囲	T _{op}	-30~85		°C	*3

*2 入力電圧範囲の最小値は、4.5V もしくは V_o+3 V のどちらか大きい値とする。

*3 但し、熱減定格(4-4 項)以内で使用する必要があります。

4. 電気的特性

4-1 電気的特性 (Ta=25°C、Vo=5V 設定時 R1=4.2kΩ、R2=0.8kΩ)

項目	記号	規格値			単位	測定条件
		MIN	TYP	MAX		
設定基準電圧	V _{ADJ}	0.784	0.800	0.816	V	V _{IN} =15V, I _o =0.2A
基準電圧温度係数	ΔV _{ADJ} /ΔT		±0.1		mV/°C	V _{IN} =15V I _o =0.2A, T _c =0~100°C
効率 *4	η		83		%	V _{IN} =15V, I _o =2A
動作周波数	f _o	270	300	330	kHz	V _{IN} =15V, I _o =2A
ラインレギュレーション	V _{Line}			80	mV	V _{IN} =10~30V, I _o =2A
ロードレギュレーション	V _{Load}			50	mV	V _{IN} =15V, I _o =0.2~3.5A
過電流保護開始電流	I _S	3.6			A	V _{IN} =15V
オンオフ 端子 *5	ON/OFF 制御電圧(出力オン)	V _{C, IH}		0.8	V	
	ON/OFF 制御電圧(出力オフ)	V _{C, IL}	2.0		V	
	ON/OFF 制御電流(出力オン)	I _{C, IH}		6	100	μA
静止時回路電流 1	I _q		6		mA	V _{IN} =15V, I _o =0A
静止時回路電流 2	I _{q(off)}		30	200	μA	V _{IN} =15V V _C =2V

*4 効率は次式により算出されます。

$$\eta (\%) = \frac{V_o \cdot I_o}{V_{IN} \cdot I_{IN}} \times 100$$

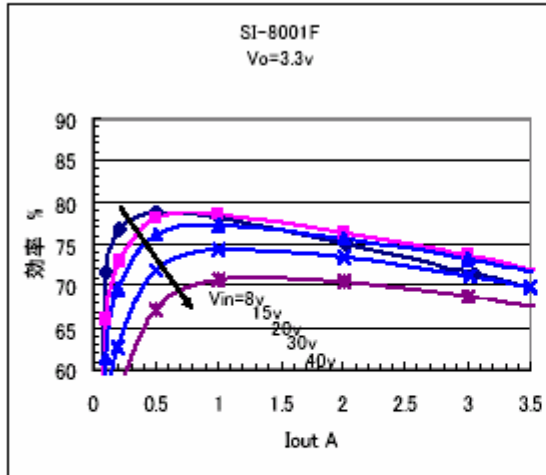
*5 出力制御端子 V_C は、OPEN では出力は ON します。各入力レベルは LS-TTL 相当です。従って、LS-TTL による直接ドライブも可能です。

SI-8001FDL

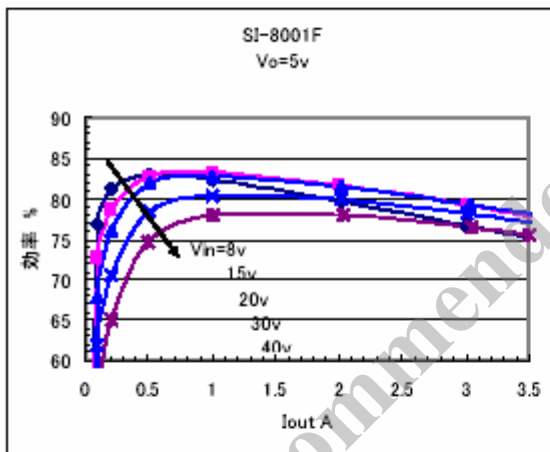
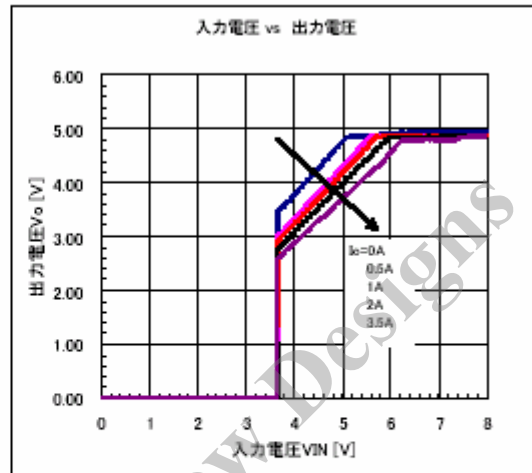
2009年12月

4-2 代表特性例(1) (特記無き場合 Ta=25°C、Vo=5V 設定時 R1=4.2kΩ,R2=0.8kΩ)

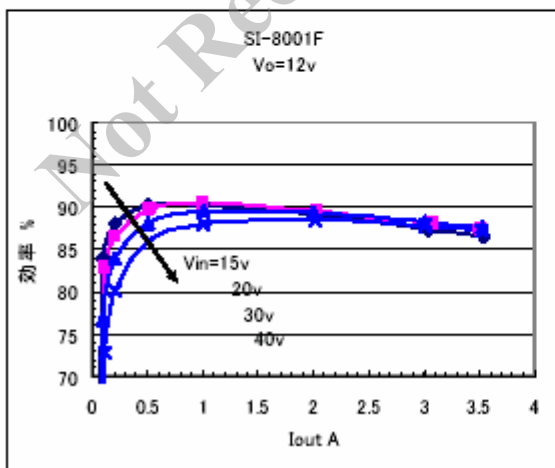
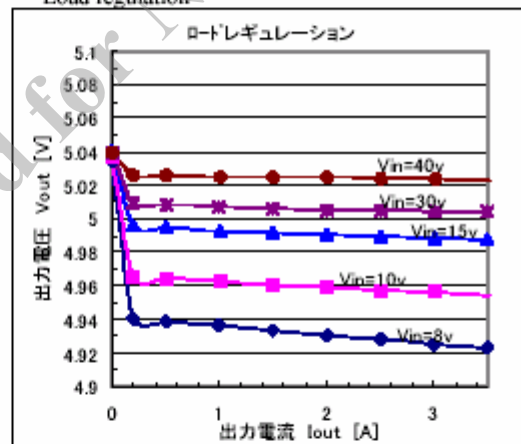
(1) 効率
Efficiency



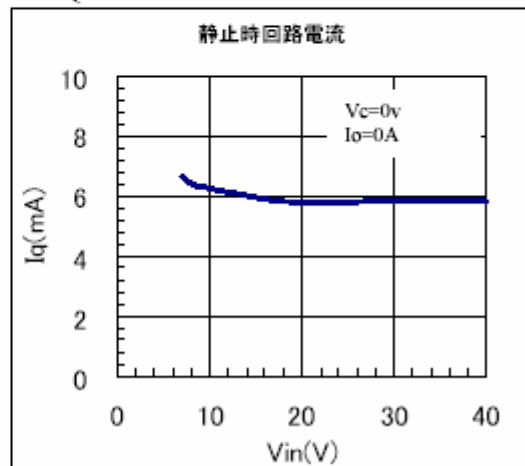
(2) 立ち上がり特性
Low voltage behavior



(3) ロードレギュレーション
Load regulation



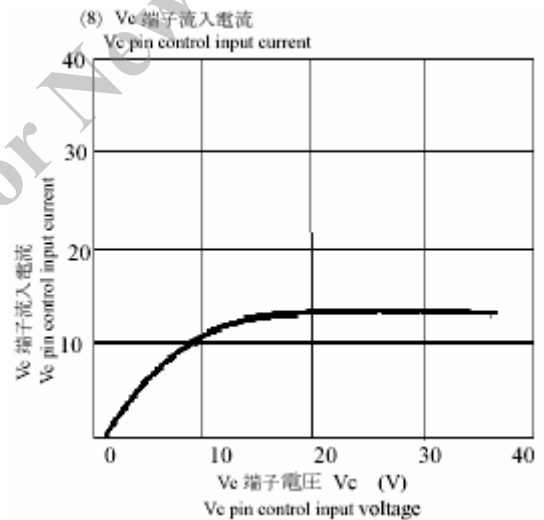
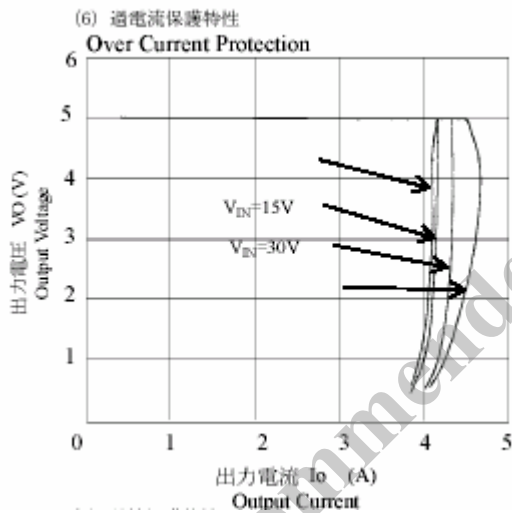
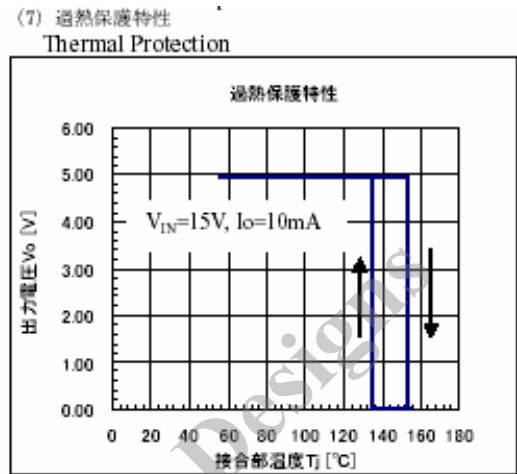
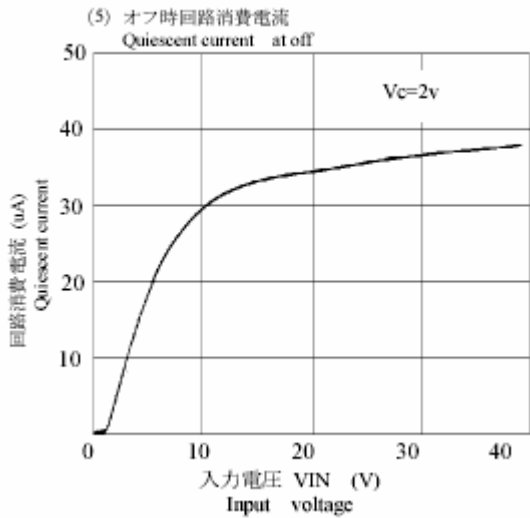
(4) 回路消費電流
Quiescent current



SI-8001FDL

2009年12月

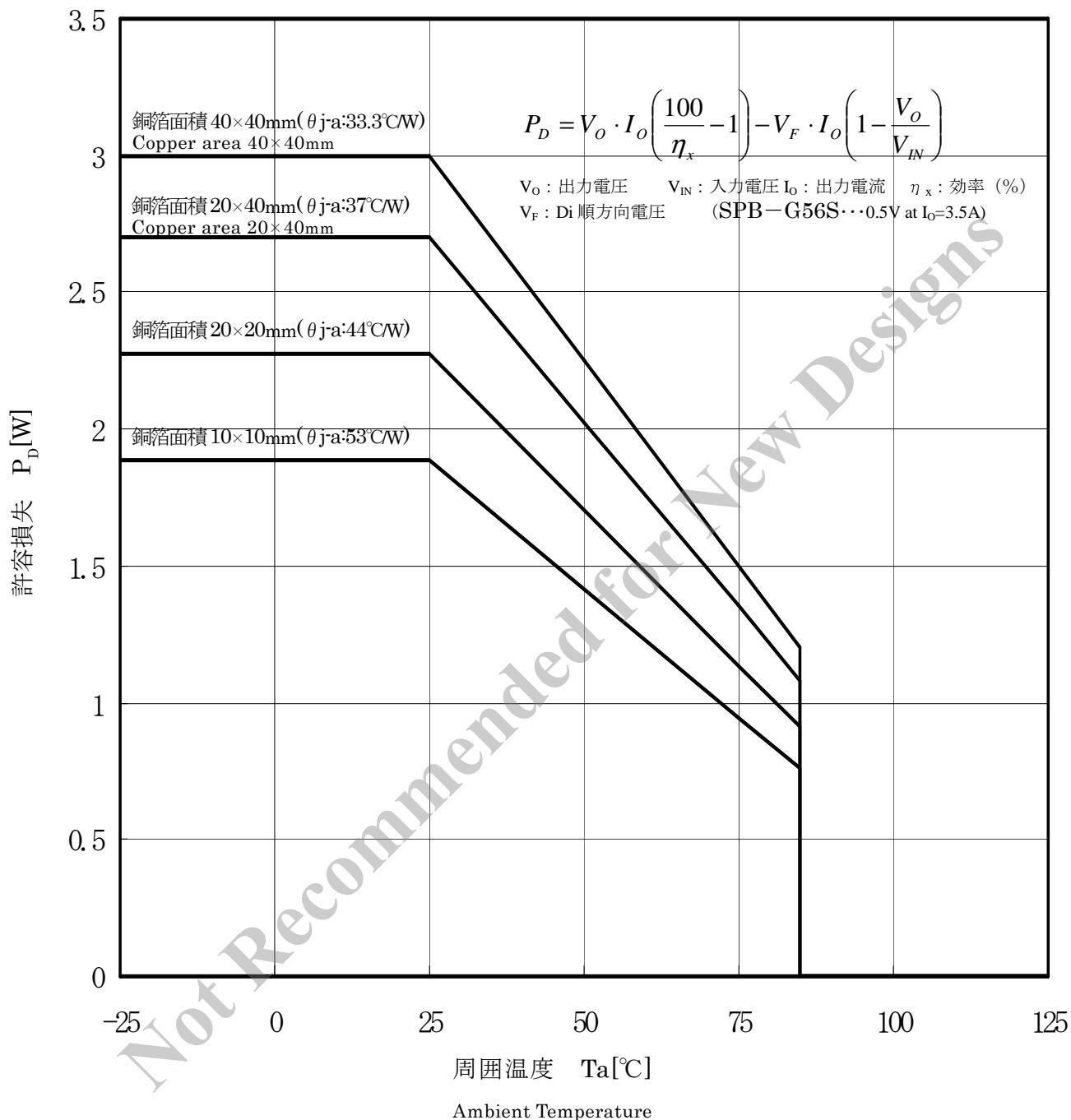
4-3 代表特性例(2) (特記無き場合 $T_a=25^\circ\text{C}$ 、 $V_o=5\text{V}$ 設定時 $R_1=4.2\text{k}\Omega$, $R_2=0.8\text{k}\Omega$)



SI-8001FDL

2009年12月

4-4 熱減定格

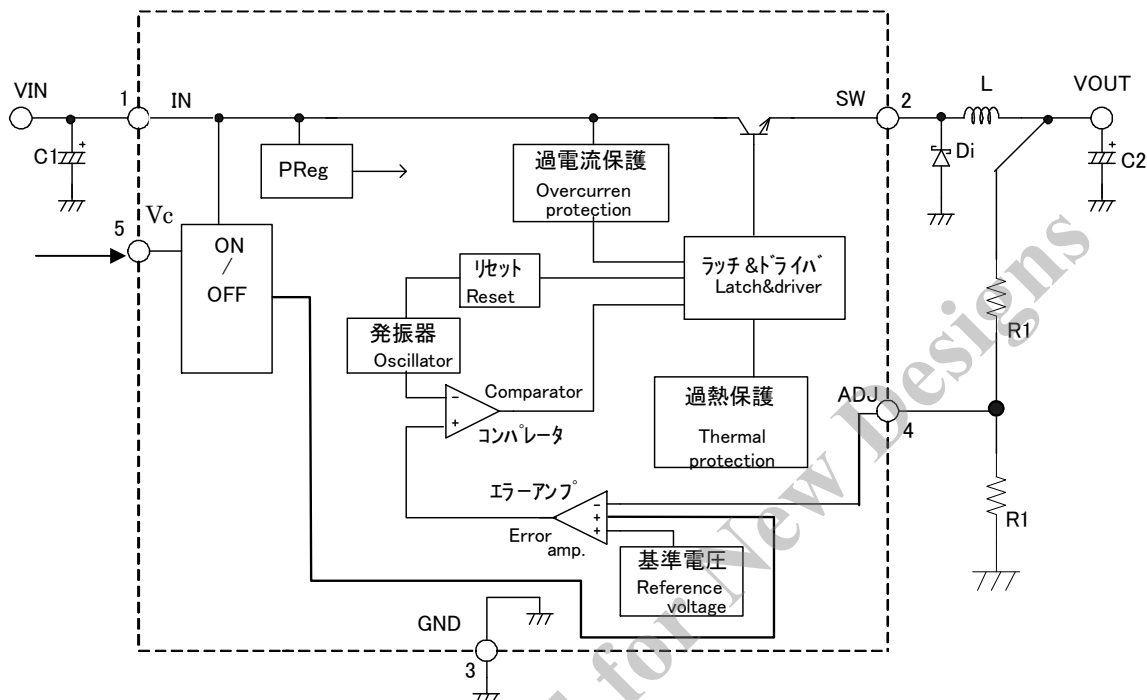


注1: 効率は、入力電圧、出力電流によって変化する為、4-2 項の効率曲線より求め、パーセント表示のまま代入する。
注2: ダイオード熱設計は別途行う必要があります。

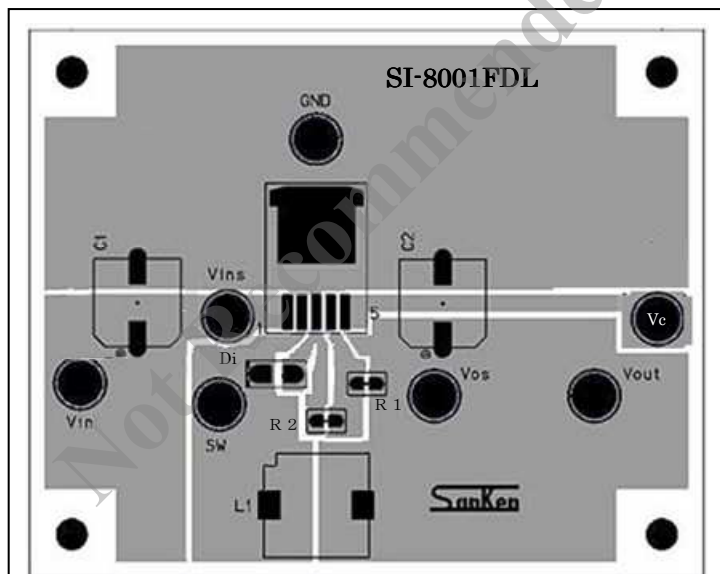
SI-8001FDL

2009年12月

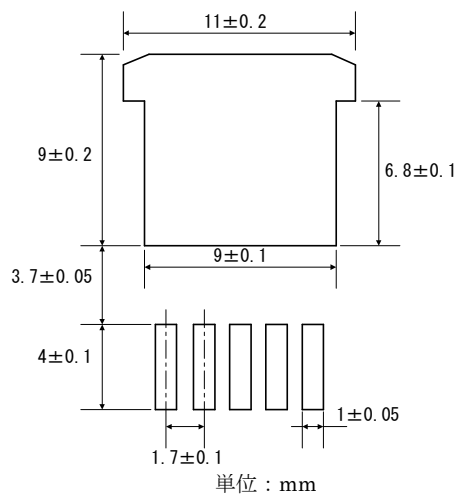
5ブロックダイアグラム (ピン配置)



推奨パターン



推奨ランドパターン



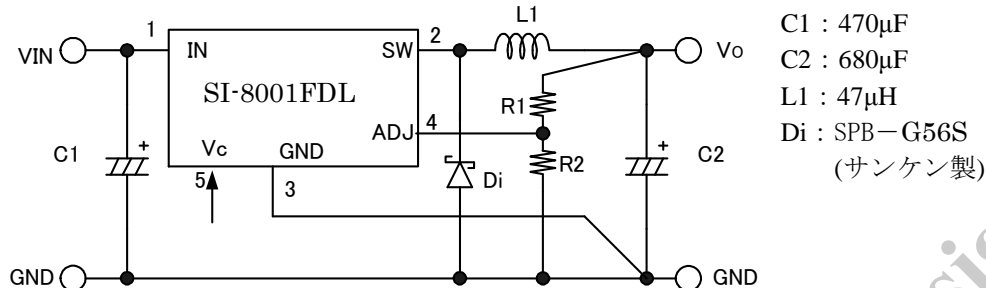
*最適な動作条件とするためには、GND ラインは3番端子を中心にした1点 GND 配線とし、各部品を最短で配置することが必要です。

SI-8001FDL

2009年12月

6 応用回路例

6-1 標準回路図



ダイオード Di

- Diには、必ずショットキーバリアダイオードを使用して下さい。
ファーストリカバリダイオードを使用した場合、リカバリおよびオン電圧による逆電圧印加によりICを破壊する恐れがあります。

チョークコイル L1

- チョークコイルの巻き線抵抗が大きい場合、効率が低下し規格の値に達しない場合があります。
- 過電流保護開始電流が4.2A程度のため、過負荷・負荷短絡時の磁気飽和によるチョークコイルの発熱に注意願います。

コンデンサー C1, C2,

- C1, C2には大きなリップル電流が流れますので、スイッチング電源用高周波低インピーダンス品をご使用下さい。特にC2のインピーダンスが高い場合、低温時にスイッチング波形に異常を起こすことがあります。又、C2にOSコン、タンタルコンデンサー等直流等価抵抗(ESR)が極端に小さいコンデンサーを使用した場合、異常発振となる可能性があるため使用しないで下さい。

抵抗 R1, R2

- R1, R2は出力電圧を設定する為の抵抗です。I_{ADJ}が1mA程度となるよう設定して下さい。又、R1, R2の値を求める式は以下ようになります。
- V_o=0.8Vに設定する際も、安定動作の為R2は接続ください。
- 出力電圧は入力電圧に対して8%以上になる様に設定する事を推奨します。

$$R1 = \frac{(V_{OUT} - V_{ADJ})}{I_{ADJ}} = \frac{(V_{OUT} - 0.8)}{1 \times 10^{-3}} (\Omega), \quad R2 = \frac{V_{ADJ}}{I_{ADJ}} = \frac{0.8}{1 \times 10^{-3}} \doteq 0.8k(\Omega)$$

©最適な動作環境とするためには、各部品を最短で配置することが必要です。

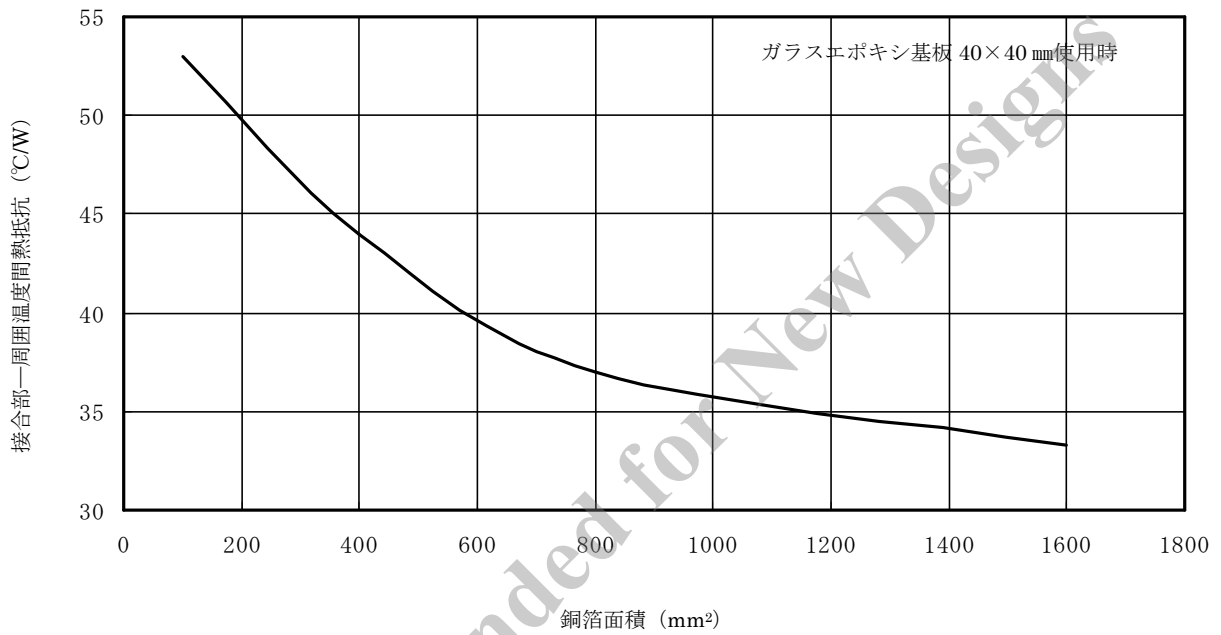
SI-8001FDL

2009年12月

参考

SI-8000FD シリーズは、パッケージの許容損失が3W の為、入力電圧と出力電流の関係によっては、使用できない範囲があります。

ガラスエポキシ基板上銅箔面積 vs 接合部一周围温度間熱抵抗 (代表値)



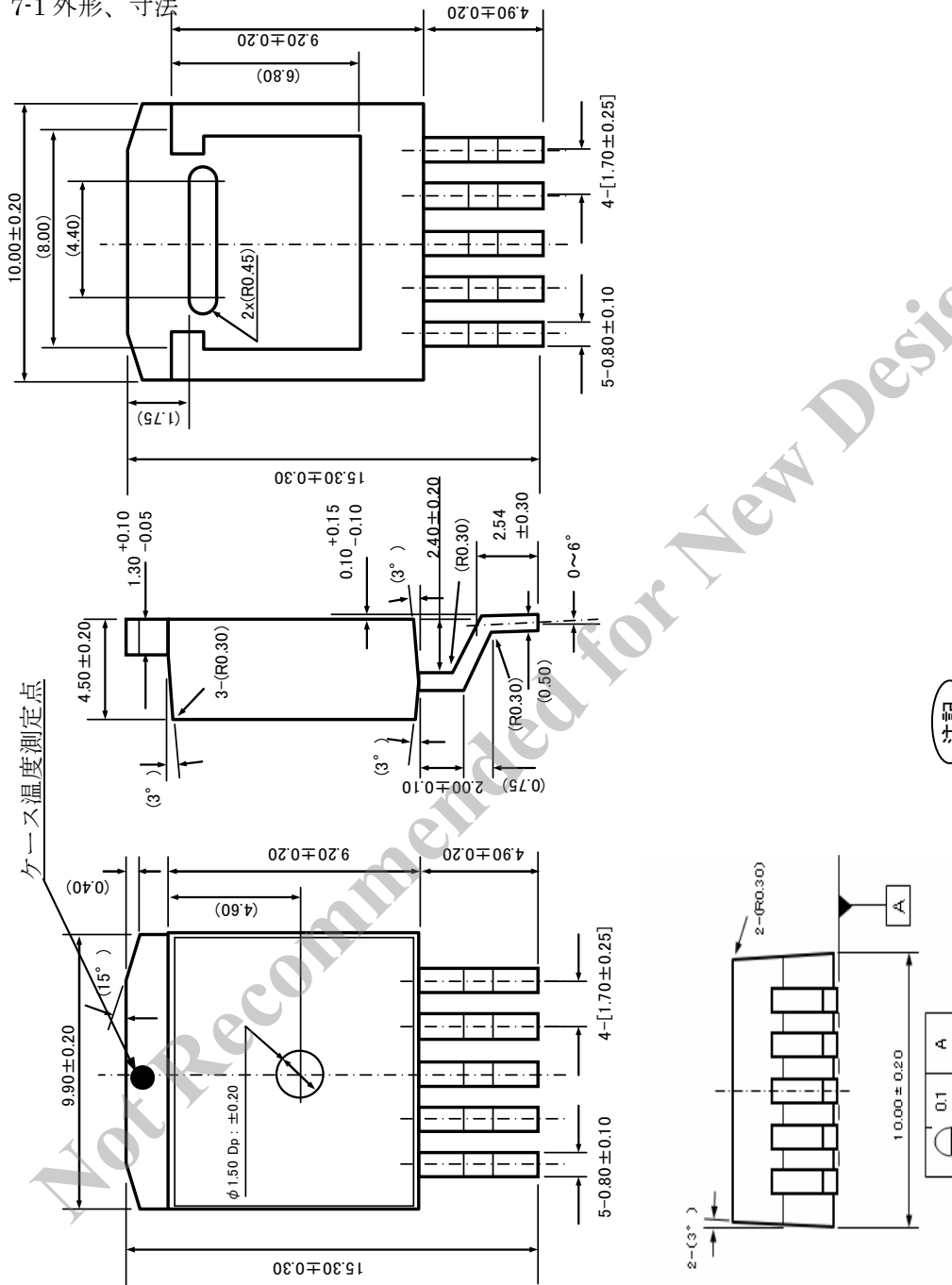
Not Recommended for New Designs

SI-8001FDL

2009年12月

7 外形

7-1 外形、寸法



注記

- 1) 寸法はモールドバリを含まない。
- 2) ()内は参考寸法を示す。
- 3) []内はリードフォームミグ後寸法
- 4) 裏面段差: 0.8mmMAX
- 5) 単位: mm

- 端子配列
- 1: IN
 - 2: SW
 - 3: GND
 - 4: ADJ
 - 5: V_C

SI-8001FDL

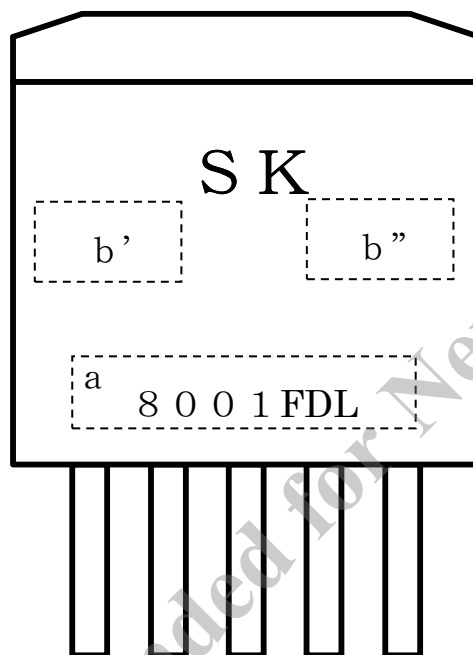
2009年12月

7-2 外観

本体は、汚れ、傷、亀裂等なく綺麗であること。

7-3 標示

標示は本体に、品名及びロット番号を明瞭、かつ容易に消えぬようレーザーで捺印すること。



- a. 品名標示
- b. ロット番号… b' + b'''にて表す
 - b'. 製造日
 - 第1文字 西暦年号下一桁
 - 第2文字 月
 - 1~9月：アラビア数字
 - 10月：O
 - 11月：N
 - 12月：D
 - 第3文字 週(毎月の第1週~第5週)
 - b''. 補助番号

7-4 製品重量

1.48 g (typical)

8 使用上の注意

8-1 並列運転について

電流を増すための並列運転は出来ません。

8-2 過熱保護特性について

SI-8000FD シリーズは過熱保護回路を内蔵しておりますが、これは瞬時短絡等の発熱に対し、ICを保護する回路であり、長時間短絡等、発熱が継続状態での信頼性を含めた動作を保証するものではありません。

8-3 取扱い上の注意

端子により、静電気によって損傷を受ける場合がありますので、取扱いには十分ご注意願います。

8-4 その他

- 本資料に記載されている内容は、改良などにより予告なく変更することがあります。ご使用の際には、最新の情報であることをご確認ください。
 - 本資料に記載されている動作例及び回路例は、使用上の参考として示したもので、これらに起因する当社もしくは第三者の工業所有権、知的所有権、その他の権利の侵害問題について当社は一切責任を負いません。
 - 本資料に記載されている製品をご使用の場合は、これらの製品と目的物との組み合わせについて使用者の責任に於いて検討・判断を行ってください。
 - 当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、半導体製品では、ある確率での欠陥、故障の発生は避けられません。部品の故障により結果として、人身事故、火災事故、社会的な損害等を発生させないよう、使用者の責任に於いて、装置やシステム上で十分な安全設計および確認を行ってください。
 - 本資料に記載されている製品は、一般電子機器（家電製品、事務機器、通信端末機器、計測機器など）に使用されることを意図しております。ご使用の場合は、納入仕様書の締結をお願いします。高い信頼性が要求される装置（輸送機器とその制御装置、交通信号制御装置、防災・防犯装置、各種安全装置など）への使用をご検討の際には、必ず当社販売窓口へご相談及び納入仕様書の締結をお願いします。極めて高い信頼性が要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御、生命維持のための医療機器など）には、当社の文書による合意がない限り使用しないでください。
 - 本資料に記載された製品は耐放射線設計をしておりません。
 - 本資料に記載された内容を文書による当社の承諾無しに転記複製を禁じます。
-
- 本資料に記載されている製品(または技術)を国際的な平和及び安全の維持の妨げとなる使用目的を有する者に再提供したり、また、そのような目的に自ら使用したり第三者に使用させたりしないようお願いします。
尚、輸出等される場合は外為法のさだめるところに従い必要な手続きをおとりください。